

通訳案内士試験道場韓国語で学ぶ日本④関西解答例

日本初の都、飛鳥

- ①聖徳太子がおば（父の妹）の推古天皇の代わりに政権を握り、太子が住んでいた法隆寺から飛鳥まで道路を作ったが、
- ②人徳のあった太子が世を去り、世継ぎの山背皇子は
- ③このとんでもない/ありえない事件
- ④権力がないも同然の/内に等しい天皇の「復権」という大義名分を掲げ、飛鳥の宮廷でわずか数名の手下を率いて蘇我氏を暗殺した。
- ⑤支石墓のような形をした
- ⑥巻き返しを果たした中大兄皇子
- ⑦天皇を中心に内閣改造を断行した大化の改新

奈良

- ①名所旧跡が多く、京都と肩を並べる観光地
- ②碁盤の目状に
- ③巨大な台形屋根（寄棟造）の本堂（大仏殿）
- ④大仏はもともと金箔を施されていたが、後で重ね塗りしなかったため、今ではどっしりした趣が感じられる。
- ⑤唐草模様やラクダが描かれている螺鈿細工の琵琶
- ⑥明かり/ライトがいっせいに消え、ざわめいていた境内に梵鐘が響くや、燃えあがる松明が夜空を燃やしてしまったかと思うと、続いて火の粉が滝のように降り注ぐこの法会
- ⑦小正月のネズミ追い行事
- ⑧この日に野焼きをする訳は、雑草を焼くことで害虫の卵やネズミを駆除し、豊作にするという意味が込められているのだ。
- ⑨米ぬかと小麦粉を練って焼き上げた鹿せんべい
- ⑩待ちましたとばかりに十数匹のシカが押し寄せ、シカせんべいは瞬く（あっという）間にたいらげられた。
- ⑪写経する（経典を筆写本として書き写す）のに必要な墨を作る職人など、寺を中心に形成された門前町
- ⑫瓦屋根と引き戸が目立つが、間口が狭く奥ゆきが深い/奥まっている（ウナギの寝床になっている）

- ⑬減税措置を受けることができるからだ。
- ⑭降りかかる災難から救ってくれるというお守りだ
- ⑮渋柿の葉でつつみ、発酵させた名物、柿の葉寿司を食べた。
- ⑯女帝から寵愛を受け、天皇になるように裏で糸をひこう/陰謀を企てようとした。

熊野

- ①豊かな自然の中で培われた/はぐくまれた信仰の地
- ②ある残暑の厳しい日
- ③不老長寿の薬
- ④捕鯨法を教えたという逸話
- ⑤ヒキガエルの形をした岩
- ⑥険しい登り道で、道が急であればあるほどご利益があると思わなければやってられないほどだ。
- ⑦気合いを入れ/引締め
- ⑧シダ類が生い茂り、真屋間でも薄暗く、マムシやムカデが出没しそうだった。
- ⑨のどが渴き水を飲んでいたところ、手の甲がしわくちやの地元のお年寄りが登ってきて「わしのようにお迎えが来そうな（棺桶に片足入れた）年寄でもこうしてピョンピョン登るのに。」と言いながら駆けあがり、達者なお年寄りたちに驚きを隠せなかった。
- ⑩人様はともかく、私は太ももからふくらはぎまでいたくなり、かかとやつま先にはまめ（たこ）ができた。
- ⑪筆者はよくおいしいものにありつけるようで、山のようなごちそうが出て、尾頭付きの焼き魚をがつつ平らげた。
- ⑫記憶が飛んでしまうほど
- ⑬気分が悪かったが
- ⑭救いようのない者
- ⑮天皇を退いた上皇たちがしばしば参拝した。
- ⑯三叉路を右折し
- ⑰年輪を重ねた杉の切り株
- ⑱ホトトギスとアブラゼミの鳴き声を聞きながら、杉の木がこんもりと生えた原生林の中で苔むした石段を歩く。
- ⑲少し拍子抜けした。
- ⑳けがれをはらって（清めて）くれるようなこの滝の最もきれいな見方は塔越しにみる

ことだ。

- ②①今年は男性の一生のうち、災いを受けやすいという「厄年」の42歳なので、筆者もしきたりに従い厄除けをしてもらった。
- ②②信仰深い巡礼者ではないのだが長年の願いも果たせてすっきりした。

神戸

- ①①あちこちに交通の便が良い要所
- ②②他の町では滅多に見られないユダヤ教会や厳かなイスラム（回教）寺院、極彩色の関帝廟と、宗教施設ならなんでもそろろう。
- ③③「神よ、我々を許したまえ。」など、教会で祈っている人たち
- ④④豆を焙煎していれてくれる店でアメリカンを飲む
- ⑤⑤菓子の形もさることながら、味も最高（おどろくほど）で、味にうるさい（舌の肥えた）人たちにも大評判だ（好評をばくしている、受けが良い）。
- ⑥⑥酢豚、八宝菜、春雨といった大衆料理、肉まん、春巻のような軽食/点心まで、

大阪人

- ①①グラウンドを駆け回る東京の強豪ジャイアンツ
- ②②阪神の挽回を期して、阪神グッズで飾り
- ③③役人がなんぼのもんじゃ？とあてこするように言い、
- ④④大阪弁をはばかりなく使う人たち
- ⑤⑤調子に乗りすぎに見えるかもしれないが
- ⑥⑥顧客第一の創意工夫
- ⑦⑦食事をきつねうどんだけで済ます場合
- ⑧⑧お客様は神様
- ⑨⑨定食（600円）を頼んで支払おうとする客に、おばさんは「600万円です！」とニコニコしながら言った。
- ⑩⑩「最近は何高やし、500万にしてんか、ってなんでやねん！」と冗談で返した。
- ⑪⑪とりあえずはぼけてから突っ込むコミュニケーションスタイル
- ⑫⑫オチをはずしたり（ギャグがすべったり）すると、相手もどう突っ込んでよいかわからない。
- ⑬⑬臨機応変に気の利いた冗談をいい、面白可笑しく受け答え/やりとりしつつ

鶴橋

- ①「もうかりまっか?」「ぼちぼちでんなあ。」
- ②豹柄の服で飾り立てた、悪趣味な服装で押しつけがましい独特な大阪弁で話す、あくの強い人たち
- ③鶴橋は在日韓国人たちにとって「首都」的存在だ/首都のようなものだ。
- ④キムチの匂いがプーンとただよってき、煙が目に染みる。
- ⑤全長2キロになるこの商店街もひところはスラム化していたが、ぬくもりがあり、時間がとまったような懐かしい/ノスタルジックな感じがし、安いホルモン焼屋や大衆食堂などが立ち並ぶ。
- ⑥小さな食料品店や、服の修繕や仕立ての店、食堂などがたちならんで、なぜか心温まり（心が和み）、
- ⑦解放（終戦）直後何もない焼野原になったこの一帯に闇市が立ち、色々なものがここに集まり始めたのがこの市場の始まりだ。
- ⑧憂さ晴らしにいっぱいやっているうちに酔いつぶれてしまった/泥酔したおじさんたちのあつまる酒場
- ⑨飾り気の（気取ら）ないレトロな雰囲気
- ⑩浅漬けをつけていたおばさん
- ⑪朝鮮総連が運営する学校で習った朝鮮語や日本の標準語はいかにも慣れておらず/たどたどしく/ぎこちなく
- ⑫「鄭潤吉」です。

韓国語で学ぶ日本④関西 氏名

①道路を作る/②世継ぎ/③とんでもない	
④ないも同然だ/⑤支石墓/⑥巻き返し/⑦内閣改造	
①名所旧跡/京都と肩を並べる/②碁盤の目状	
③台形/本堂/④金箔を施す/重ね塗りする	
④どっしりとした趣/⑤唐草模様/螺鈿細工の琵琶	
⑥ライトが一斉に消える/ざわめく/梵鐘が響く	
⑥松明/火の粉/法会/⑦小正月のねずみ追い行事	
⑧ネズミを駆除する/⑨米ぬか/練って焼き上げる	
⑩待ってましたとばかりに/押し寄せる/	
⑪門前町 (10 字前後の韓国語で)	
⑫ウナギの寝床 (20 字前後の韓国語で)	
⑬減税措置を受け/⑭降りかかる災い/⑮渋柿⑯寵愛	
②残暑の厳しいある日/③不老長寿の薬/④捕鯨	
⑤ヒキガエル/⑥厳しい登り道/ご利益がある	
⑦気を引き締める/⑧シダ植物/真昼間でも薄暗い	
⑧マムシ/ムカデ/⑨のどが渇く/手の甲/	
⑨しわくちゃ/お迎えが近い/ぴよんぴよん	
⑨達者なお年寄りたちに驚きを隠せない	
⑩人様はともかく/太もも/ふくらはぎ/かかと	
⑩つま先にまめができ/⑪うまいものにありつける	

⑪山のようなごちそう/尾頭付きの焼き魚	
⑪がつつ平らげる/⑫記憶が飛ぶほど（飲む）	
⑬（飲み過ぎで）気分が悪い/⑭救いようのない者	
⑮天皇を退く/⑯三叉路を右折する	
⑰年輪を重ねた杉の切株/⑱ホトトギス/アブラゼミ	
⑲杉がこんもりと生えた原生林/苔むした石段	
⑲拍子抜けする/⑳穢れを祓う/塔越しに見る	
㉑厄年（20字前後の韓国語で説明）	
㉑しきたりにしたがいい厄除けしてもらおう。	
㉒信仰深い/長年の願いも果たせずっきりした	
①あちこちに交通の便が良い（成語）/要所/	
②めったに見られないユダヤ教会/厳かな寺院	
②宗教施設なら何でもそろろう/③我々を許したまえ	
⑤形もさることながら味も驚くほどだ。	
⑤味にうるさい人たちにも大評判だ/⑥酢豚/春雨	
⑥肉まん、春巻きのような軽食	
①グラウンドを駆け回る/強豪/②挽回を期する	
②阪神グッズ/③役人がなんぼのもんじゃ/	
③当てこすりに言う/④お高く留まる人/憚りなく	
⑥顧客第一/創意工夫/⑦きつねうどんだけで済ます	
⑧お客様は神様/⑨にこにこ/⑩冗談で返す	

⑪とりあえずボケてからつつこむ	
⑫ギャグがすべる/⑬臨機応変/気の利いた冗談	
①もうかりまっか/ぼちぼちでんなあ/②豹柄の服	
②飾り立てる/悪趣味な服装/押しつけがましい/	
②あくの強い人/②首都的存在/③ぷーんと漂う	
③煙が目に染みる/④全長2キロ/スラム化/	
④ぬくもりがある/時間が止まったような懐かしさ	
④ホルモン焼き/⑤食料品店/服の修繕/服の仕立て	
⑤心温まる/⑥闇市/⑦憂さ晴らしに一杯やる	
⑦酔いつぶれる/⑧飾り気のないレトロな雰囲気	
⑨浅漬け/⑩標準語が不自然だ	